

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第八百拾號

明治四十一年九月三十日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第六十三號

明治四十一年七月縣令第三十一號全年月全縣令第三十八號全年月全縣令第四十三號全年月全縣令第四十六

號獸疫豫防令ハ本日限リ之ヲ廢止ス

明治四十一年九月二十八日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

○和歌山縣令第六十四號

明治二十三年十二月縣令第七十三號諸遊技場取締規則中左ノ通改正シ明治四十一年十月一日ヨリ之

ヲ施行ス

明治四十一年九月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

第八條 第一條第二條第四條第五條ニ違背シタル者ハ三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料ニ處ス

○和歌山縣令第六十五號

明治三十年五月縣令第五十一號煙突火竈取締規則中左ノ通改正シ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年九月三十日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

第六條 第一條第三條第五條ニ違背シ又ハ第四條ノ命ニ從ハサル者ハ三十日以下ノ拘留又ハ貳拾

圓以下ノ科料ニ處ス

○和歌山縣令第六十六號

明治二十七年六月縣令第三十二號蒸氣機取締規則中左ノ通改正シ明治四十一年十月一ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年九月三十日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

第十八條ヲ左ノ通改ム

第十八條 第一條第四條第五條第八條第九條第十四條ニ違背シ又ハ第十條第十六條ノ停止ヲ犯

シタル者ハ三十日以下ノ拘留又ハ貳拾圓以下ノ科料ニ處ス

第十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十九條 本則ハ石油發動機瓦斯發動機ニ之ヲ準用ス

○和歌山縣告示第三百二十三號

左記ノ通定置漁業免許期間ノ更新ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登錄ス

明治四十一年九月廿九日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

明治三十九年十月三日免許第六八一號

那賀郡岩出町大字宮

漁業權者代表者

井上紋右衛門

一 魴築類漁業

鮎鞘掛

更新免許期間

明治四十一年十月三日ヨリ二箇年

那賀郡岩手町大字宮

漁業權者代表者

井上紋右衛門

一 魴築類漁業

鮎鞘掛

更新免許期間

明治四拾一年十月三日ヨリ二箇年

那賀郡長田村大字島

漁業權者代表者

吉本勝左衛門

一 魴築類漁業

鮎鞘掛

更新免許期間

明治四十一年十月二十五日ヨリ二箇年

明治三十九年九月二十七日免許第六七七號

那賀郡田中村大字竹房

山中壽雄

一 魼築類漁業

鮎鞘掛

更新免許期間 明治四十一年九月廿七日ヨリ二箇年

○和歌山縣告示第三百三十四號

左記ノ通定置漁業免許期間ノ更新ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十一年九月廿九日 和歌山縣知事 伊澤多喜男

明治三十九年九月廿六日免許第六七四號

東牟婁郡三尾川村大字洞尾

漁業權者代表者 杉本喜治松

一 魼築類漁業

鮎瀬張網

更新免許期間 明治四十一年九月廿六日ヨリ貳箇年

明治三十九年九月廿六日免許第六七五號

東牟婁郡三尾川村大字洞尾

漁業權者代表者 杉本喜治松

一 魼築類漁業

鮎瀬張網

更新免許期間 明治四十一年九月廿六日ヨリ五箇年

○和歌山縣告示第三百三十五號

明治四十二年度吳鎮守府管内ニ於テ徵募セラルヘキ海軍志願兵員數左ノ通り定メラレタルニ依リ

志願ノ者ハ來ル十一月三十日迄ニ願書ヲ所轄郡市役所及町村役場ヲ經テ當廳ニ差出スベシ
 但シ出願シ得ヘキ者ノ資格願書ノ記載方等ハ最寄郡市役所又ハ町村役場ニ就キ承合スヘシ
 明治四十一年九月廿九日
 和歌山縣知事 伊澤多喜男

徵募區	海軍志願兵		兵種		所管	鎮守府	
	水兵	軍樂生	木工	機關兵			
二	吳	鎮守府	四四〇	四	九	二一八	
					一〇	二二	
						七〇三	
							計

○和歌山縣告示第三百三十六號

北海道國有未開地處分ニ關シ今般北海道廳ニ於テ國有未開地處分法施行細則全貸付地豫定存置規則及團結移住規約標準左ノ通り改正又ハ制定シタル旨同廳長官ヨリ通知アリタリ

明治四十一年九月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

北海道廳令第九十六號

明治三十九年十月三十一日
 (明治四十一年六月二十六日北海道廳令第六十六號ヲ以テ一部改正)

貸付地豫定存置規則

第一條 十戸以上ノ團結移住者ニシテ府縣知事ノ証明ヲ受ケ一年以内ニ移住セントスル者ハ貸付地ノ豫定存置ヲ出願スルコトヲ得

第二條 貸付地豫定ノ土地ノ出願ハ特定地ニ限ル

但シ殖民區畫施設豫定ノ土地ト雖出願スルコトヲ得

第三條 貸付地ノ豫定存置ヲ出願セムトスルトキハ二名以下ノ總貸人ヲ團體員中ヨリ互撰シ之レニ委任シテ左ノ書式ノ願書ニ府縣知事ノ證明書團結規約書戶籍謄本及圖面ヲ添ヘ北海道廳長官ニ差出スヘシ

總代人ハ其ノ總代委任ノ正當ナルコトヲ證明スヘシ

第四條 移住者ハ本道上陸地ノ移住者取扱官ノ檢印ヲ押捺シタル北海道移住民運車賃減船賃割引券ヲ所持スルヲ要ス

第五條 豫定存置地ニ移住シタルトキハ直チニ移住届ヲ爲シ同時ニ其ノ移住地ニ對シ北海道國有未開地處分施行細則第二條ニ依リ貸付ヲ出願スヘシ

前項ノ貸付願ニハ戶籍謄本ノ添付ヲ要セス

第六條 團結移住者中異動ヲ生シ補欠シタルトキハ府縣知事ノ證明書及戶籍謄本ヲ添ヘ總代人及補欠移住者連署ノ上届出ツヘシ

第七條 第四條第五條第六條ニ違背シタルトキハ貸付地豫定存置許可ヲ取消スコトアルヘシ

第八條 本則ニ依ル願届書ハ直接當廳ニ差出スヘシ

貸付地豫定存置願

何國何郡何原野何線何番地

一 未開地 何坪 畑(田)目的

但シ團結移住者何戶移住

右土地貸付相受度ニ付豫定存置相成度御規則ヲ遵守シ別紙府(縣)知事證明書團結規約書戶籍謄本

及圖面相添へ此段相願候也

年 月 日

何府縣團結移住者何十戶總代人

何府縣何郡區町村何番地

當時北海道何郡何區何町村何番地居住

何 某印

同 前

何 某印

北海道廳令第六十四號 (明治四十一年六月二十四日)

北海道國有未開地處分法施行細則

第一條 賣拂又ハ貸付スヘキ土地及ヒ特定地ノ設定ハ北海道廳告示ニ據リ之ヲ公示ス

第二條 法第二條前段ニ依リ土地ノ賣拂ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ願書ニ起業方法書、圖

面及戶籍謄本ヲ添へ差出スヘシ

公共團體以外ノ法人ニ在リテハ定款、組合其ノ他共同シテ事業ヲ經營セムトスル者ニ在リテハ

規約書ヲ添付スヘシ

三十町歩以上ノ賣拂願ニハ市區町村長、戶長又ハ其ノ職務ヲ行フ者ノ証明アル直接國稅納額調

書ヲ添付スヘシ

第三條 三十町歩以上ノ賣拂ハ、記標準ノ直接國稅(地租、所得稅、營業稅)ヲ三年以上納付シ仍ホ

引續キ納付スルモノニアラサレハ許可セス但家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ

付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅ト看做ス

一 一百町歩以下 納稅額五圓以上

二 貳百町歩以下 同 十二圓以上

三 三百町歩以下 同 貳十圓以上

四 四百町歩以下 同 三十五圓以上

五 五百町歩以下 同 五十圓以上

六 八百町歩以下 同 七十五圓以上

會社ニアリテハ其ノ際ニ出資又ハ拂込ヲ了シタル資本ノ總額百町歩ニ付一萬圓以上ノ割合ニ該當スルモノニアラサレハ許可セス

組合其ノ他共同シテ事業ヲ經營セムトスル者ニアリテハ各人ノ納稅額ヲ通算ス

第四條 特定地ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ第二號書式ノ願書ニ圖面及戶籍謄本ヲ添ヘ差出スヘシ

第五條 法第貳條後段、第四條、第五條又ハ第七條ニ依リ土地ノ賣拂、貸付、付與又ハ交換ヲ受

ケムトスル者ハ第三號書式ノ願書ニ圖面ヲ添ヘ差出スヘシ

第六條 法第二條前段ニ依リ賣拂ヲ受ケタル土地ノ事業ヲ成功セスシテ讓渡シタルトキハ第四號

書式ニ依リ讓渡人ヨリ遲滞ナク届出ツヘシ

共同シテ賣拂ヲ受ケタル者其ノ共同ヨリ脱退セムトスルトキ又ハ之ニ加入セムトスル者ハ第五

號書式ニ依リ許可ヲ受クルヲ要ス

第七條 特定地ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニアラサレハ貸付セス但シ農事ニ關スル中等教育以

上ノ學科ヲ修得シ一部落ノ農事ヲ指導スルヲ得ヘキ者ハ此ノ限ニ在ラス

一 北海道移住民規則ニ依ル團結移住者

二 耕作ノ目的ヲ以テ新ニ移住シ其ノ證憑書類ヲ携帯スルモノ

三 耕作ノ目的ヲ以テ移住シ未タ所有地又ハ貸付地若クハ小作地ヲ得サルモノ

第八條 法第十二條第一項但書ニ依リ讓渡ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ第六號書式ノ願書ヲ差出スヘシ

特定地ノ讓渡ヲ出願スル場合ニハ讓受人戸籍謄本ヲ添付スヘシ

第九條 貸付ヲ受ケタル土地ヲ返還セムトスルトキハ第七號書式ニ依リ許可ヲ受クルヲ要ス但シ貸付地ノ一部ヲ返還セントスルトキハ圖面ヲ添付スヘシ

第十條 土地ノ賣拂、貸付、付與、交換出願中ノ者又ハ賣拂ヲ受ケ事業成功セザル者若クハ貸付ヲ受ケタル者ニシテ左記事項ノ一ニ該當スルトキハ戸籍謄本ヲ添へ本人又ハ相續人、法定代理人若クハ管理人ヨリ遲滞ナク届出ツヘシ但シ轉居及管理人異動ノ場合ニ限り戸籍謄本ノ添付ヲ要セス

一 死亡、失跡、相續、分家又ハ改氏名アリタルトキ

二 法定代理人若クハ管理人ニ異動アリタルトキ

三 轉籍又ハ轉居シタルトキ

第十一條 特定地ニ對シ其ノ事業ヲ成功シタルトキハ第八號書式ニ依リ遲滞ナク付與ノ請求ヲナスヘシ

第十二條 施行規則第八條ニ依リ存置スヘキ地積ハ全地積ノ十分ノ二以内トス

第十三條 賣拂又ハ貸付シタル土地ノ事業ニ對シテハ左ノ區分ニ從ヒ其ノ成否ヲ檢查ス

特定期

毎年一回

三十町歩以下

成功期間内

二回以内

三十町歩以上

同

四回以内

行政廳ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ前項ノ規定ニ拘ハラズ臨時検査ヲ爲スコトアルヘシ
賣拂ヒタル土地ノ事業ヲ成功シタル者ニ對シテハ請求ニ依リ成功検査済ノ證ヲ交付ス

第十四條 土地ノ賣拂、貸付、付與ヲ受ケタル者又ハ其ノ賣拂、貸付、付與、交換出願中ノ者實
地ニ立會ヲ要スル爲メ當該官吏ヨリ通知ヲ受ケタルトキハ之ニ立會スヘシ

第十五條 土地ノ處分ニ關シ隣接地ノ境界調査ヲ必要トシ當該官吏ヨリ實地立會ノ通知ヲ受ケタ
ル者ハ之ニ立會スヘシ

第十六條 土地ノ賣拂又ハ貸付ノ許可アリタルトキハ指令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ土地ノ境
界ニ第九號様式ノ標杭ヲ建設スヘシ

前項ノ標杭ハ左ノ期間之ヲ存置シ亡失毀損ノ場合ハ遲滞ナク建設スルヲ要ス
一 法第二條前段ニ依リ賣拂ヒタル土地ハ其ノ事業ヲ成功シ検査終了迄

二 特定期ハ其ノ付與ヲ受ケル迄

三 法第四條、第五條ニ依リ貸付シタル土地ハ其ノ貸付期間内
第十七條 土地ノ賣拂又ハ貸付ノ處分ヲ取消ス場合ニ於テ主タル事業ヲ成功セスシテ從タル道路
堤塘濬築工作物ノ類ノミヲ營造シ又ハ成功程度検査後ニ於テ成功シタル土地ハ未成功地トシテ

處分ス
成功程度ノ検査ニ於テ成功シタリト認メタルモノト雖モ其ノ後荒廢ニ歸シタル土地ハ之ヲ未成

功地ト看做ス

第十八條 賣拂ヒ又ハ貸付シタル土地ノ一部ヲ返還セシメ又ハ返還セムトスル場合ニ於テ其ノ殘地カ事業成功済ナルトキハ事業成功期間又ハ貸付期間ハ返還アリタル日ヲ以テ滿了ス

第十九條 賣拂ヒタル土地ノ成功期間、貸付シタル土地ノ貸付期間其ノ他ノ期間ハ左ノ起算方ニ據ル

一 法第二條前段ニ依リ賣拂ヒテナシタル土地ノ成功期間及特定地ノ貸付期間ハ許可翌年ヨリ起算ス

二 法第四條、第五條ニ依リ貸付シタル土地ノ貸付期間ハ許可ノ翌月ヨリ起算ス

三 法第十五條ノ期間ハ處分テナシタル翌月ヨリ起算ス

第二十條 左記事項ノ一ニ該當スル者ハ其ノ出願ヲ無効トス

一 土地ノ賣拂、貸付、付與交換又ハ讓渡ノ場合ニ於テ其ノ指令書ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ居所不明ニシテ之ヲ交付スルコト能ハサルトキ

三 土地ノ賣拂、貸付、付與、交換又ハ讓渡出願ノ者ニシテ呼出ニ應セス又ハ呼出狀ヲ送達スルコト能ハサルトキ

四 願書ノ訂正ヲ命シタルモ指定ノ制限内ニ訂正願書ヲ提出セサルトキ又ハ願書ヲ却下シタル場合ニ於テ之ヲ交付スルコト能ハサルトキ

第二十一條 左ノ場合ニ於テハ其ノ處分ヲ取消スコトアルヘシ

一 土地ノ賣拂、貸付又ハ讓渡ノ願書ニ既ニ賣拂又ハ貸付ヲ受ケタル土地ヲ記載セスシテ許可ヲ受ケタルトキ

二 土地及立木ノ賣拂代價ヲ指定ノ期限内ニ納付セサルトキ

第二十二條 土地ノ賣拂、貸付、付與又ハ交換出願中ノ者若クハ賣拂、貸付ヲ受ケタル者ニシテ所轄管内又ハ區内ニ居住セサルトキハ其ノ管内又ハ區内ノ居住者ヲ代理人トシ双方運署ノ上支應管内ニ在リテハ所轄支廳ニ區ニ在リテハ北海道廳ニ届出ツヘシ

第二十三條 法第十二條第二項、第十四條、第十五條、第十六條、第十八條ニ依リ土地ノ返還ヲ命シ又ハ賣拂、貸付ノ處分ヲ取消シ若クハ伐木代價ノ辨償ヲ命シタル場合ニ於テ本人若クハ代理人其ノ命令書ノ受領ヲ拒ミヨルトキ又ハ居所不明ニシテ之ヲ交附スルコト能ハサルトキハ三日間之ヲ公示シ公示ノ終リタル日ヲ以テ其ノ返還、取消又ハ辨償ヲ命シ了リタルモノト看做ス法第十七條ニ依リ工作物其他ノ物件ノ除去ヲ命シタル場合亦同シ

第二十四條 土地及立木ノ賣拂價額、貸付料、法第十六條ノ評定價額及移轉料、同第十八條ノ伐木代價等ハ北海道廳長官若クハ北海道廳支廳長ノ選任シタル評價委員ノ評價ニ據ル法第十六條ノ直接費用辨償ノ申立アリタル場合ニ於テ其ノ金額ヲ不當ト認ムルトキ亦同シ

第二十五條 特定ノ讓渡ハ左ノ事項ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一 相續又ハ分家シタルトキ

二 天災其ノ他避クカラサル原因ニ基ク故障アルトキ

行政廳ニ於テ正當ト認ムル事故アルトキハ此ノ限りニアラス

第二十六條 共同シテ事業ヲ經營スル者ノ行政廳ニ對スル義務ハ連帶責任トス

第二十七條 本則ニ依ル願届書ハ出願地ヲ管轄スル支廳ヲ經由スルヲ要ス但シ特別ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

附 則

第二十八條 本則ハ明治四十一年七月一日ヨリ施行ス

(書 式)

第一號書式ノ一

未開地賣拂願

何國何郡何村何原野何線何番地

一 未開地何町步 何目的

但シ本地内ノ樹木 何々何本何尺メ

外

賣拂地(又ハ貸付地)何町步内成功地何町步

但シ何年何月何日何國何郡何原野ニ於テ何目的ヲ以テ賣拂ヲ受ク

賣拂(又ハ貸付)出願地何町步

但シ何年何月何日何國何郡何原野何目的ヲ以テ賣拂出願中

土地ノ賣拂(又ハ貸付)ヲ受ケタルモノ又ハ賣拂(貸付)出願中ノモノナシ

右北海道國有未開地處分法第五條及施行規則第七條ニ依リ相當代價ヲ以テ土地及立木共ニ賣拂相成度起業方法書、圖面、戶籍謄本(又ハ何々)相添ヘ此段相願候也

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

年 月 日

何 業 氏 名 印

北海道廳長官宛

第一號書式ノ二

起業方法書

(耕地ノ例)

一 開墾ノ方法

小作開墾又ハ自作開墾

二 事業配當程度

初年何町歩開墾

小作人何戸移主

道路幅何尺長サ何間何反歩開墾

二年以下前年ノ例ニ依ル

三 存置地何町歩

右之通りニ候也

年月日

注意

右 氏 名 印

一 成功期間ノ前半期ニ於テ開墾地積ノ四分以上ヲ成功スルヲ要ス

二 成功期間奇數ナルトキハ其年數ニ一年ヲ加ヘ二除シタルモノヲ以テ前半期ト見做ス

三 特種ノ起業ヲ要スルモノハ前各項ニ據ラサル事ヲ得此場合ニ於テ明細ナル起業設計書ヲ添

付スルヲ要ス

第一號書式ノ三

起業方法書

(牧畜ノ例)

一 種畜ノ種類 牛、馬、羊、豚
二 事業配當程度

初年何反步成功

但シ何々(充用種別ヲ記スヘシ)

木柵又ハ土壘何間

右仕様

建物何々何種何程

右仕様

飼畜北何頭
牡何頭

二年以下前年ノ例ニ依ル

右之通ニ候也

年月日

右 氏 名 印

注意

一 放牧場、耕地、建物敷地、道路排水敷地及木柵土壘ノ位置ハ圖面ニ明記スルモノトス

二 放牧地ハ土壘木柵又ハ排水溝等總テ施設ヲ了スヘキ最終年度ニ其ノ坪數ヲ記入スルモノトス

三 牛馬各一頭ニ付穀菜畑、牧草三反步、放畜地ハ四町四反步以内ノ標準ヲ以テ設計スヘシ
羊豚ニアリテハ各一頭ニ付穀菜畑、牧草畑各一反五畝步、放牧地ハ三反五畝步以内ヲ標準

トヘシ

四 畜舎ハ牛馬一頭ニ付一坪以上ノ割合ヲ以テ建設スルヲ要ス

五 毎年飼養スヘキ畜類ノ頭數ハ注意第三ノ標準ニ依リ毎年閉墾スヘキ飼料畑地ノ反別ニ比例

シテ定ムヘシ

六 第一號書式二ノ一、二、三ヲ準用ス

第一號書式ノ四

起業方法書

(植樹ノ例)

一 植樹ノ種類

二 事業配當ノ程度

初年何反歩

苗圃何坪

新植地何反歩

植樹種類何々何本

天然生樹木仕立地何反歩

林道幅何間

長何間何反歩

火防溝幅何間

長何間何反歩

二年以下前年ノ例ニ依ル

右之通りニ候也

年月日

右氏

名印

注意

一 一坪一本以上ノ割ヲ以テ植樹スヘシ

二 苗圃、植樹地、林道、火防溝ノ位置ヲ圖面ニ明記スヘシ

三 第一號書式二ノ一、二、三ヲ準用ス

第一號書式ノ五

起業方法書 (宅地ノ例)

一 建物使用ノ目的

二 事業配當程度

初年建物何々何棟何坪

右構造方法何々

二年以下前年ノ例ニ依ル

右之通りニ候也

年月日

右氏

名印

注意

一 市街地及市街豫豫定地ニアリテハ二戸十二坪以上ノ家屋ヲ建設スルヲ要ス

二 前記ノ家屋ハ葺葺、板圍以上ノ構造ナルヲ要ス

第一號書式ノ六

起業方法書 (海産干場ノ例)

一 水産製造業場ノ種類

二 方法ノ要領

三 事業配當程度

初年何反歩成功

建物何々何棟何坪

二年以下前年ノ例ニ依ル

右之通りニ候也

年 月 日

第一號書式ノ七

(別紙圖面)

第二號書式

未開地貸付願

一 何國何郡何原野何線何番地

二 未開地何町步 何目的

但シ本地内ノ樹木 何々何本何尺

外書ハ第一號書式ノ一ニ同シ

三 事業配當程度

初年何町步開墾

右 氏 名 印

二年同

三年同

四年同

四 存置地 何町步

右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成度圖面及戶籍謄本(又ハ何々)相添ヘ此段相願候也

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

年 月 日

氏 名 印

北海道廳長官宛

第三號書式ノ一

未開地賣拂(付與)(貸付)願

何國何郡何町村字何(又ハ何原野何線何番地)

一 未開地反別

但シ本地内ノ樹木 何々何本何尺メ

二 目的及方法

三 貸付期間

右北海道國有未開地處分法第何條ニ依リ相當價格(又ハ無償)ヲ以テ賣拂(付與)(貸付)相成度圖面及ヒ設計書相添ヘ此段相願候也

(理由ノ記載ヲ要スルモノハ之ヲ詳記スヘシ)

何府縣何郡何町何村何番地

當時何府縣何郡何村何番地寄留

年月日

氏

名印

北海道廳長官宛

注意

- 一 圖面ハ第一號書式ノ七ニ倣フモノトス
- 二 有償貸付願ノ場合ハ法人ヲ除ク外保証人ヲ要ススルモノトス
- 三 設計書ニハ設備及ヒ用法ヲ詳記スヘシ

第五號書式ノ二

未開地交換願

何國何郡何町村字何(又ハ何原野何線何番地)

一 未開地何町何反何畝何歩

何國何郡何町村字何何番地(何原野何線何番地)

一 民有田又ハ何々何町何反何畝何歩

右ハ何々ニ付(事由ヲ記載スヘシ)北海道國有未開地處分法第七條ニ依リ交換致度候間別紙兩地ノ圖面相添

此段相願候也

何府縣何郡何町村何番地

年月日

北海道廳長官宛

注意

一 圖面ハ第一號書式ノ七ニ做フモノトス

二 市街宅地ニアリテハ坪數ヲ揚ケタ位ニ止ムルモノトス

第四號書式

土地讓渡届

何國何郡何町村何番地

一 何町何反歩 何目的

但シ何年何月何日指令第何號ヲ以テ賣拂許可ノ分

右何々ニ付何府縣何郡何町村字何番地何ノ某ニ讓渡候間此段及御届候也

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

年月日

氏

名印

北海道廳長官宛

第五號書式ノ一

册名(又ハ脱退)願

何國何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

氏

名印

一 原野何町步

但明治何年何月何日指令第何號ヲ以テ賣拂許可ノ分

外

賣拂(又ハ貸付)地何町步内成功地何町步

但明治何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ賣拂又ハ貸付ヲ受ケ明治何

年迄成功ノ豫定

賣拂(又ハ貸付)出願地何町步

但明治何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ貸付出願中

土地ノ賣拂(又ハ貸付)ノ許可ヲ受ケタルモノ又ハ出願中ノモノナシ

右ノ土地ニ對シ何々(假令ハ組合員何某脫退シ其ノ持分ヲ何某ニ讓渡シ何某新ニ本組合ニ加入

シ共同經營云々)致度候間許可相成度組合規約書戶籍謄本又ハ何々相添へ此段相願候也

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

氏 名印

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

氏 名印

北海道廳長官宛

注 意

一 新ニ加入スルモノアル場合ニ限リ外書ニハ加入者ノ賣拂又ハ貸付地等ヲ記載スルモノトス

二 願書ニハ脱退者加入者及ヒ殘留組合員ノ連署ヲ要ス

第五號書式ノ二 脱退及ヒ分割願

何國何郡何町村何番地

一 原野何町步

但シ何年何月何日指令第何號ヲ以テ賣拂許可ノ分

内

何町步

分割

何町步

殘存

外(外書ハ前書式ト同斷)

右ノ土地ニ對シ組合員何某脱退ノ其ノ持分ニ該當スル前記ノ土地ヲ分割シテ經營致度候間許可相成度分割地及ヒ殘存地ニ對スル起業方法書又ハ何々相添へ此段相願候也

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

年 月 日

氏

名 印

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

北海道廳長官宛

注意

- 一 願書ニハ脱退者及ヒ殘留組合員ノ連署ヲ要ス
- 一 起業方法書ハ第一號書式ニ依ル

第六號書式

未開地貸付權利讓渡願

何國何郡何町村字何(又ハ何原野何線何番地)

一 未開地何町步

何目的

但シ何年何月何日指令第何號ヲ以テ貸付許可ノ分

外

貸付(又ハ賣拂)地何町步

但シ何年何月何日何國何郡何町村字何(何原野)ニ於テ何目的ヲ以テ貸付又ハ賣拂ヲ受ケタ

ル分

貸付(又ハ賣拂)出願地何町步

但シ何年何月何日何國何郡何町村字何(何原野)ニ於テ何目的ヲ以テ貸付又ハ賣拂出願中

土地貸付、賣拂ノ許可ヲ受ケタルモノ又ハ土地貸付、賣拂出願中ノモノナシ

右何々ニ付

(事由ヲ詳記スヘシ)

北海道國有未開地處分法第十二條ニ依リ讓渡致度ニ付許可相成度戶籍謄

氏 名 印

本(又ハ何々)相添へ此段相願候也

年月日

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

讓渡人 氏

名印

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

讓受人 氏

名印

北海道廳長官宛

注意

- 一 外書ニハ讓受人ノ貸付又ハ賣拂地等ヲ記載スルモノトス
- 二 戶籍謄本ハ讓受人ノ分添付スルモノトス

第七號書式

貸付地返還願

何國何郡何町村字何(又ハ何原野何線何番地)

一 貸付地何坪

何目的

但シ何年何月何日指令第何號ヲ以テ許可ノ分

右ノ土地北海道國有未開地處分法第何條ニ依リ貸付相成候處今般都合ニ依リ返還致度就テハ伐採樹木代價並償可致候間御開届相成度圖面相添へ此段相願候也

(未着手ノ場合ハ「就テハ」以下ヲ「尤モ本地ハ未タ何等ノ着手不致候此段相願候也」トスヘシ

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

氏

名 印

年月日

北海道廳尹官宛

注意

一 圖面ハ第一號書式ノ七ニ做フモノトシ部分返還ノ場合ニハ返還地ト殘存地トテ區分シ返還

スヘキ區域中ニ着手又ハ成功シタル個所アルトキハ之ヲ區分スヘシ

二 處分法第三條貸付地ノ部分返還願ハ殘地ニ對スル起業方法書ヲ添付スヘシ

第八號書式

未開地付與願

何國何郡何原野何線何番地（又ハ何町村字何番地）

一 貸付地何町步

但シ明治何年何月何日指令第何號ヲ以テ貸付許可ノ分

右ハ今般豫定ノ通リ成功致シ候間付與相成度此段相願候也

何府縣何郡何町村何番地

當時何府縣何郡何町村何番地寄留

氏

名 印

年月日

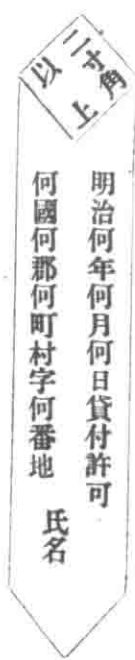
北海道廳長官宛

第九號樣式

標 杭

地上二尺以上根入二尺以上

表



注 意

基點ニ標杭ヲ建設スルトキハ其ノ基點タルコトヲ明記スヘシ

棋譜第八百十號

明治四十一年九月三十日

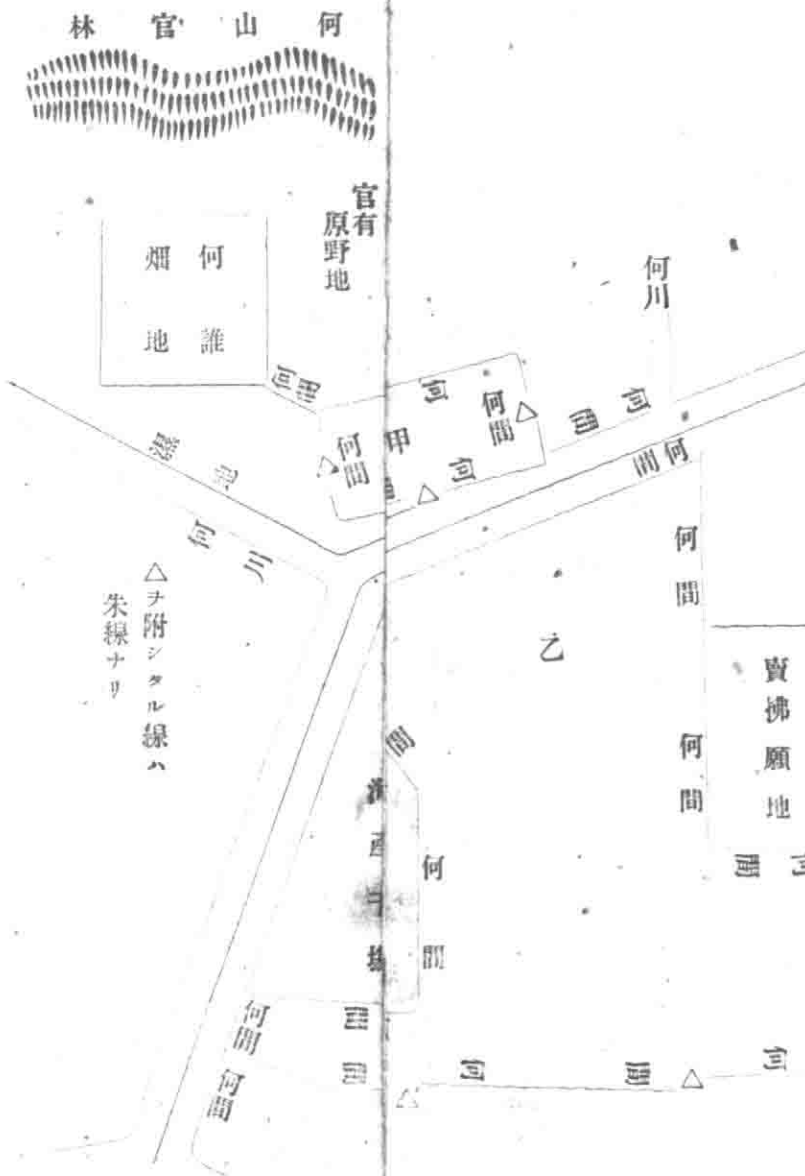
第三種郵便物認可

第一號書式ノ七
何國何那何町村字何々番地
一未開地 何町步

此内譯
甲、何町步
乙 何町步
願人

何某印

官有芝生地



注意

一基線 道路河川ノ辻若クハ近接貸付地等ノ隅角 若シ之レナキトキハ 大標ヲ設立スヘシノ如キ移動ナキケ所
ニ(●)朱印ヲ以テ基點ヲ明ニスルモノトス
二繫線 前項基點ノ例ニ依リ一地域毎ニ二ヶ所以上ヲ實測シ朱點ヲ施シ其間數ヲ記入スルモノトス
三間數 地域ニ從ヒ周圍ニ間數ヲ明記スルモノトス
四除地 道路河川及溝渠ヲ挾ムトキハ其敷地ヲ除キ各地域毎ニ甲乙等ノ符號ヲ付スルモ

△ヲ附シタル線ハ 朱線ナリ

ノトス

五敷地 新ニ道路用應水路及灌漑水排水溝等ヲ設クルモノハ其ノケ所ニ二條ノ朱點線ヲ施シ其ノ延長間數ヲ記入スルモノトス
六部分返還ノ場合ハ持續地ト返還地トヲ明記スヘシ

●團結移住規約標準

團結移住者ノ規約ハ區々ニ涉リ其ノ要領ヲ得サルモノ多カリレテ以テ本廳ハ其ノ規約標準ヲ示シテ移住者ノ參考ニ供セリ左ノ如シ

團結移住者規約標準

移住ノ目的

第一條 北海道廳ノ規定セラレタル團結移住ノ要領ニ準據シ竝ニ何府何國何市何町ノ住民何十

戸ヲ以テ團結ヲ組織シ北海道ニ移住シテ専ラ農業(若クハ主トシテ耕作ニ從事シ傍ラ養蠶牧畜何々)從事シ自作農タルヲ以テ目的トス

移住者ハ皆北海道ニ移住スルノ目的ナルヲ以テ移住ノ際ハ貸下豫定地ニ轉籍スルモノトス

移住ノ戸數

第二條 此移住ノ團體ハ何誰以下何名ヨリ成立スルモノトス

但團體移住者中異動ヲ生シ補缺シタルトキハ府縣知事ハ證明書及戶籍謄本ヲ添へ惣代人及補缺移住者連署ノ上北海道廳へ届ケ出ツルモノトス

移住ノ戸數

第三條 明治何年ニ貸下豫定地ニ何十戸移住スルモノトス

豫定存置地ニ移住シタルトキハ直チニ各自ヨリ移住届ヲ添へ移住地ノ貸付願ヲ北海道廳へ差出スモノトス

團結員ノ權利義務

第四條 此ノ團體ハ各自同一ノ權義ヲ有スル自作農ニシテ土地貸下期限中ハ小作ヲ爲サシメサルモノトス

第五條 移住者ハ勤儉ヲ旨トシ決シテ奢侈ニ渉ルコトヲ爲サス。移住ノ翌年ヨリ協議ノ上應分ノ金品ヲ貯蓄シ以テ一村基本財産ノ基礎ト爲シ凶荒又ハ公共ノ用ニ供ス

但シ貯蓄ノ金品ハ協議ノ上最確實ナル方法ヲ設ケ惣代人ヲシテ之ヲ保管セシム

第六條 習慣ノ善良ナルモノハ之ヲ保守シ否ラサルモノハ之ヲ矯正スルコトヲ務ムヘシ殊ニ左ノ各項ヲ遵守スルモノトス

一 常ニ親睦ヲ旨トシ苟モ喧嘩口論スヘカラス

二 金額物品ヲ賭シ博奕ヲ爲スヘカラス

三 祝祭吊慰ノ外猥リニ集會シテ酒宴ヲ開クヘカラス

四 冠婚葬祭其分ニ越ユヘカラス

五 忠君愛國ノ氣風ヲ養成スヘシ

第七條 移住者中疾病ニ罹リ若クハ不時ノ災害ヲ被リタルトキハ相互ニ救護ヲ爲スハ勿論萬一右ノ爲メ開墾ノ進捗ヲ妨ケ起業方法書ノ如ク土地ヲ成功セサルノ虞アルトキハ相協力シテ豫期ノ功程ヲ舉ケシムルモノトス

第八條 移住旅費ハ各自ノ負擔トス

但シ時宜ニ依リ團體同盟者ニ於テ何分一補助スルコトアルヘシ

第九條 移住後家作器具糧食等各自ニ必要ノモノハ各自ノ負擔トス

第十條 本區域内ニ於ケル共同ニ屬スル道路橋梁用水路ノ修築ハ共同ノ負擔トス

惣代人ニ關スル規程

第十一條 便宜上團體中ヨリ互撰ヲ以テ惣代人(二名以内)ヲ置キ左ノ事項ヲ取扱ハシム

一 土地貸下其ノ他ニ關シ官廳へ諸願届等ニ關スル件

二 公達命令傳送ノ件

三 開墾上管理ノ件

四 貯蓄ノ金品保管ノ件

五 規約違反者處分執行ノ件

規約違反處分事項

第十二條 本規約ニ違背シ若クハ左記ノ一ニ該當スルモノアルトキハ衆議ノ上惣代人ヨリ一應説

諭ヲ加ヘ猶改メサル時輕キハ何圓乃至何圓ノ違約金ヲ徴シ重キハ本團體ヨリ除名スル者トス

一 故ナク開墾ニ從事セサル者

二 故ナク他ニ轉居スル者

三 農期間他人ヲ誘導シ出稼ヲ爲ス者

四 相互救護ノ義務ヲ果サ、ル者

五 本團體ノ面目ヲ汚スヘキ行爲アル者

雜則

第十三條 違約徴收金ハ他ノ貯金ト共ニ保管シ團體ノ公共事業ニ費消スルモノトス

第十四條 除名者ノ貯蓄シタル金品ハ之ヲ返付セサルモノトス

第十五條 他日移住者中ニ於テ本規約ノ改正ヲ必要トスル場合アルトキハ團體全戸數三分二以上

ノ同意ヲ以テ改正スルコトヲ得

此場合ニ於テハ當初本規約ノ認可ヲ得タル府縣廳及北海道廳ノ承認ヲ得ルニアラサレハ實施セサルモノトス

但シ全部移住後ニ於テ改正スルトキハ北海道廳ノミノ承認ヲ受クルモノトス

第十六條 團體者各自本規約ヲ是認シ之ヲ履行スヘキコトヲ誓ヒ竝ニ記名捺印スル者ナリ

明治四十年 月 日

住 所

氏 名 印

家族何人

(以下各自列記スヘシ)

注 意

團結規約書ニハ三錢印紙ヲ貼付シ消印スヘシ

○ 觀 測

明治四十一年九月廿五日ヨリ三日間當地氣象概況(前年對照)

種 目	月 日	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
		九月廿五日			九月廿六日		

平均氣壓
 平均氣溫
 最高氣溫
 最低氣溫
 最多風向
 平均風力
 天氣
 降水量
 記事現象

七六〇耗四	七六四耗三	七五九耗八	七六三耗八	七五八耗九	七六一耗七
二二度七	一六度一	二〇度五	一九度八	二二度二	一八度六
二八度六	一七度四	二三度九	二六度三	二五度九	二二度三
一九度三	一四度九	一七度九	一四度六	一七度四	一四度六
北々東	北東	東	南西	北東	西
二米三	二米七	一米七	二米二	四米三	二米二
晴	雨	曇后雨	晴	晴	曇
〇耗〇	一三耗五	二耗〇	一耗一	〇耗四	一耗一
早朝微雨及沿海ノ警報着電	終日降雨	午后降雨		曉間微雨及月環ヲ映ズ	

報第八百十號

明治四十一年九月三十日

第三種郵便物認可

三四終

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治四十一年九月二十九日印刷
明治四十一年九月三十日發行

〔定頁代價〕
〔金委〕

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目番地
印刷人 和歌山市久保町一丁目二十四番地